

柏市 GIGA スクール



基本 コンセプト

これからの時代を生き、これからの時代をつくる子ども達を育てる
～社会の変化に対応し、未知の課題を解決できる基本的な資質・能力を育てる～

目指す児童生徒像

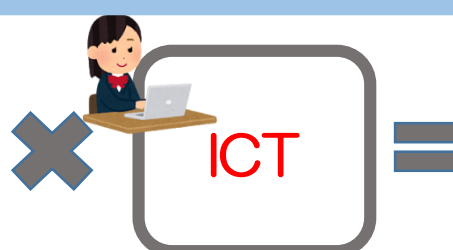
自他の対話を大切にしながら、
学び続けるかしわっこ

- 予測困難な社会の変化を前向きに受け止め、多様な人々と協働しながら様々な変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となる
- 学習の基盤となる情報活用能力を育成し、自ら学ぶ力を身に付け、生涯にわたって学び続けることができるようにする

取り組み

社会につながる活用
～ **情報活用能力育成**を目指した授業改善を通して ～

これまでの
教育実践



学習活動の一層の充実
主体的・対話的で深い学びの視点をもった授業改善

- 柏市として、「問題解決・探究における情報活用の過程での情報活用能力体系表を作成し、情報活用能力ごとに発達段階に応じた身に付けるスキルを定めました。教員及び児童生徒が体系表を見ることで段階的に児童生徒主体となる、授業改善を目指します。
- 様々な場面でICTを活用し、情報を収集、整理、比較検討していく中で、情報活用能力を育成していきます。
- 指導者は基礎となる点を指導し、児童生徒がそれを繰り返し活用しながら、深い学びへとつなげていく…その過程で、学び方、知識の活用の仕方を身に付けていきます。

環境

デジタル学習基盤
学びの環境整備

GIGAスクール環境

- ・ 1人1台のタブレット端末
- ・ 高速大容量のネットワーク環境
- ・ クラウド活用

情報活用の場面

収集 判断
表現 処理
創造 発信
伝達

飛躍的充実の場面

- すぐに
- いつでも
- どこでも
- 1人1人に応じて
- 大量に
- 誰とでも
- 何度でも

令和の時代の学びへ

タブレット端末を、えんぴつやノートと同じ
**文房具のように、いつでも必要な時に
自分で選択して活用する**



これからの時代を生き，これからの時代をつくる子ども達を育てる
～社会の変化に対応し，未知の課題を解決できる基本となる資質・能力を育てる～

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

目指す授業

- ・達成感を味わう
- ・友だちのよさを見つける
- ・友だちと協力し合う
- ・アウトプットする
- ・ゴールを明確にもつ
- ・単元構成，教科横断的，系統性を意識する
- ・多様な学び手が参加できる
- ・新たな課題を見出せる
- ・身の回りや地域に関連する

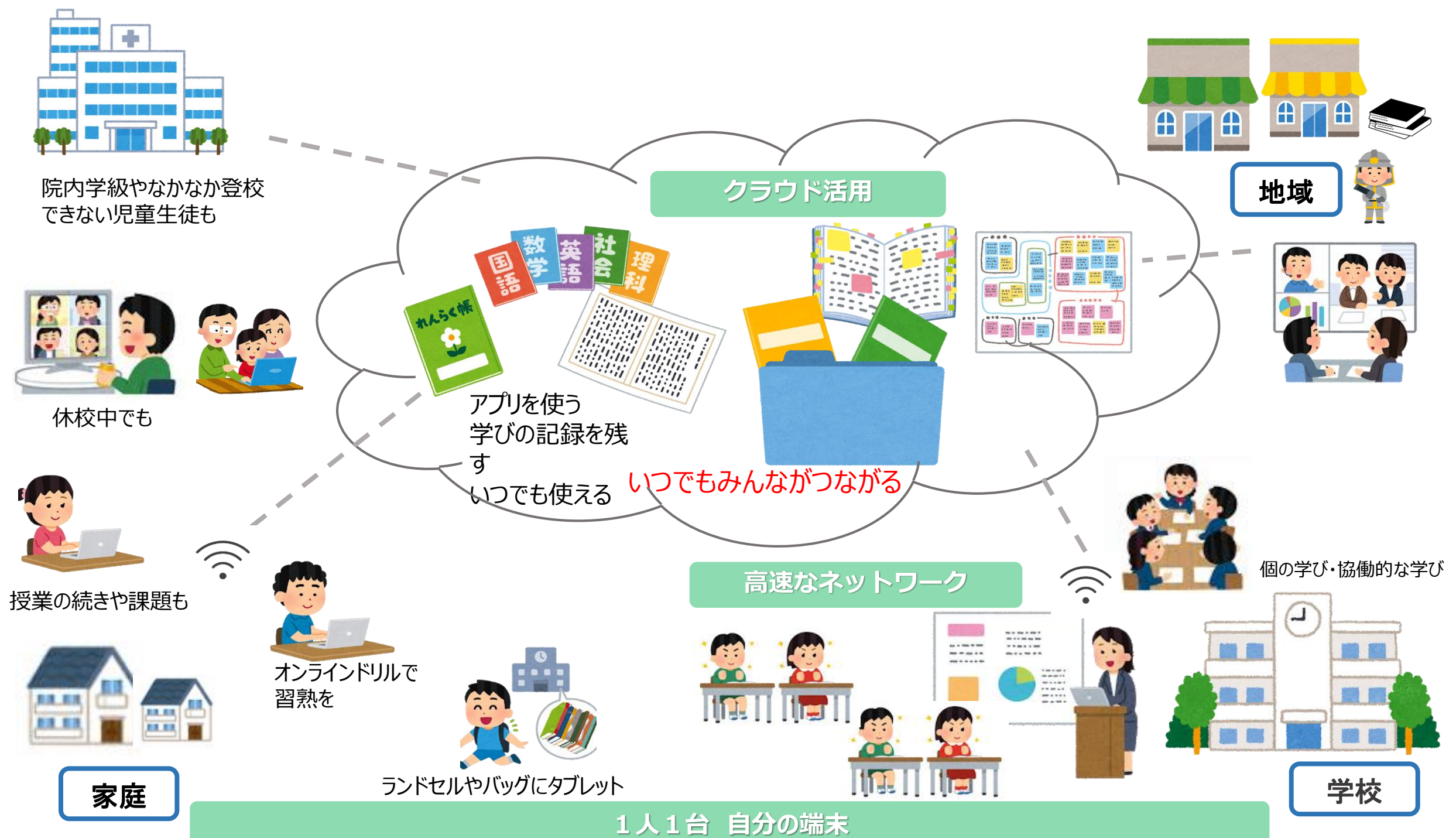
学習者に必要な資質・能力

- ・学び方を知っている
- ・学びのプロセスが使える
- ・情報を収集できる
- ・情報を比較検討できる
- ・自分の考えを相手に伝えられる
- ・相手の意見を受け止める
- ・友だちと対話する
- ・学び方を選べる
(自分で・友だちと・先生と)

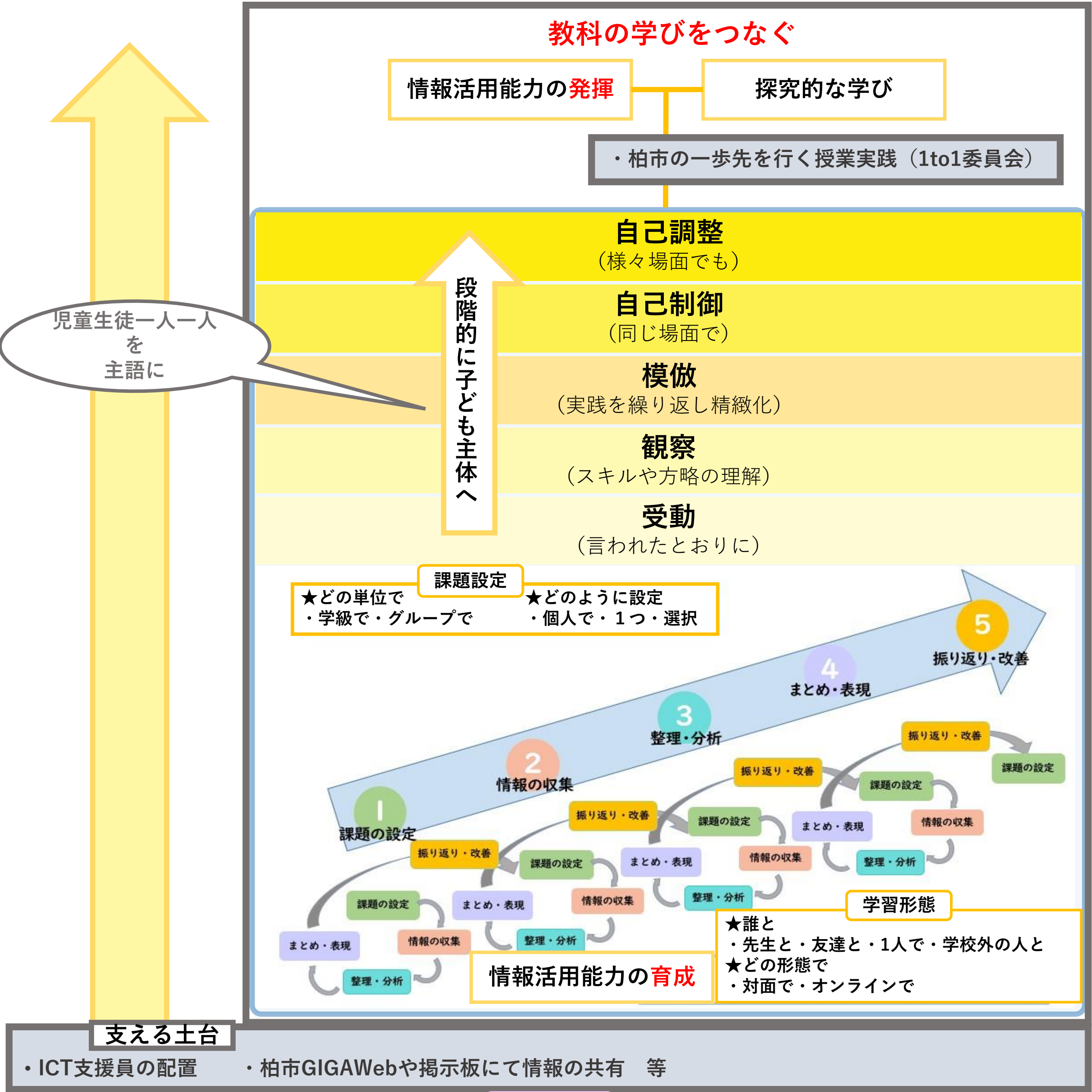
指導者に必要な姿

- ・児童生徒を見取る
適切な理解，把握
見方考え方を明確にし意識
学びのプロセスを意識
- ・端的に伝える
様々な伝え方
様々な学び方
- ・ファシリテートする
適度な声掛け
人や内容をつなぐ

学びの環境



自ら学び続けるかしわっこ



教員

これからの柏を作る児童生徒の資質・能力を発揮する場をファシリテートできる教員
～ これからの時代の指導力向上を目指し、主体的に学び続ける ～

学校

教育DXに取り組み、よりよい教育に向けて絶えず改善する学校
～ 相似形を意識した学習指導・校務・研修の体制づくり ～

情報活用能力とは コンピュータ等の情報手段を適切に用いて情報を収集、整理・比較、発信・伝達できる力であり、情報手段の基本的な操作の習得やプログラミング的思考、情報モラル、情報セキュリティ、統計等に関する資質・能力等も含むもの。

情報活用能力の育成 1つの教科や1つの単元での取り組みによるものではなく、年間を通じて可能な限り全教科で実践することの積み重ねで身に付くと考えられる。

情報活用能力の発揮 社会や地域に関係する課題等，探究活動を通して発揮されると考えられる。

1人1台端末を活用した授業改善検討委員による実践から【例】小学6年生理科「てこのはたらき」

情報の収集

蛇口にはこの原理はありますか？

はい、蛇口にはこの原理が関係しています。蛇口を開けると、ハンドルを回すことで内部のバルブが動き、水の流れを調整します。このとき、ハンドルがてこの支点となり、力を加えることで大きなトルクを生じさせ、バルブを簡単に開けたり閉めたりすることが出来ます。

てこの原理の基本

- 支点：ハンドルの回転軸
- 力点：ハンドルを押す部分
- 作用点：バルブにかかる力

課題の設定

【発展学習で探究したこと】文でも画像でも

これが一番軽い！→

まとめ・表現

てこのはたらき学習計画

授業日	STEP	教科書	内容	授業動画	振り返り
8/11 15	1	152-155	てこのはたらき	MP155/QRコード https://www2.nhk.or.jp/school/watch/cdr/2des_id=0005301199_0_0000	Canva「てこ」①
8/11 20				https://www2.nhk.or.jp/school/watch/cdr/2des_id=0005300916_0_0000	
8/11 27	2	156-161	てこが水平につり合うときの決まり	https://www2.nhk.or.jp/school/watch/cdr/2des_id=0005300939_0_0000	スピン「てこ」② 先生問題
8/11 29				https://www2.nhk.or.jp/school/watch/cdr/2des_id=0005300939_0_0000	
8/12 4	3	162-163	てこのはたらきを利用した道具	https://www2.nhk.or.jp/school/watch/cdr/2des_id=0005300939_0_0000	Canva「てこ」③ 先生問題
8/12 6	4	164	つり合いを利用したおもちゃ		おもちゃ作り プリント2枚 教科書
8/12 8	5	166-169	まとめ・探究学習		
12/11 11	6		ワークテスト		

問題解決・探究における情報活用の過程での情報活用能力体系表

【柏市版】問題解決・探究における情報活用の過程での情報活用能力育成体系表（スキル・モラル以外）				
Step1（小学校低学年程度）		Step2（小学校中学年程度）		Step3（小学校高学年程度）
課題の設定 A	A1 問題意識を持つ	A2 課題を解決するための見通しを持つ	A3 課題を解決する計画に沿って、情報手段の活用計画を立てる	A4 目標を明らかにし、根拠を持った課題解決の計画を立てる
情報の収集 B	B1 身近なところから情報を収集する。	B2 情報の特徴・傾向・変化を捉えながら調査や資料から情報収集する	B3 情報の特徴をとらえ、調査や実験・観察など多様な情報収集の方法を選んで使う	B4 目的に合わせてネットワークの利用も含む方法を考えながら情報を収集する
整理・分析 C	C1-① 簡単な絵や図、表、グラフで整理する	C2-① 情報どうしのつながりを見つけたら、観点を持って整理する	C3-① 目的に応じて適切な方法を選んで、整理分析する	C4-① 情報メディアの特性を踏まえて、目的や状況に応じて情報を整理する
	C1-② 情報を分解、仲間分け、関連づけなどをして情報のつながりを考える	C2-② 情報から全体的特徴・要点を捉える	C3-② 情報の規則性や類似性などの特徴から他に関連づけて課題に対して考察する	C4-② 目的に応じてとらえた情報から多様な視点で課題に対して考えを持つ
プログラミング D	D1 順次処理とは何かを理解する	D2 順次処理及び繰り返し処理などを組み合わせたプログラミングを体験する	D3-① 順次処理及び繰り返し処理、条件分岐処理を組み合わせたプログラミングを体験する	D4-① 生活や社会における問題を、ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングによって解決する活動を通して身に付ける【※技術・家庭科（技術）】
			D3-② 図示で手順を評点する	D4-② 生活や社会における問題を、計画・制御のプログラミングによって解決する活動を通して身に付ける【※技術・家庭科（技術）】
まとめ・表現 E	E1-① 簡単な絵や図、表、グラフに表す	E2-① 観点を決めて表やグラフに整理して表す	E3-① 情報の整理の方法を目的に応じて使いわけ整理する	E4-① 情報の整理の方法を目的に応じて使いわけ整理する
	E1-② 自分の言葉で表す	E2-② 整理した情報から、自分の考えを持つ	E3-② 情報の規則性や類似性などの特徴から自分の考えを作り出す	E4-② 情報の規則性や類似性などの特徴から自分の考えを作り出す
振り返り・改善 F	E1-③ 相手にわかりやすく表現する	E2-③ 相手に合わせた方法を選び、情報を組み合わせて表現する	E3-③ 目的や意図に合わせて、複数の表現手段を組み合わせて、聞き手とのやりとりを含めて表現・発信、創造する	E4-③ 目的や意図に合わせて、情報を組み合わせて、統合的に表現し、ネットワークをつかって表現・発信、創造する
	F1-①学習の様子を自分の言葉でまとめる	F2-① 学習を振り返り情報活用の大切さを見出す	F3-① 自身の情報・情報手段の活用傾向をとらえ、次へのまかしを見出す	F4-① 課題に対する多様な情報・情報手段の活用を見出す
	F1-②情報活用のよさを確認する	F2-② 情報活用の方法の改善点を見出す	F3-② 情報活用の効果・改善点を見出す	F4-② 情報・情報手段の活用を効率化の視点から評価・改善する

基本的な操作
柏市情報リテラシー表

情報リテラシー 育成カリキュラム表【R7年4月版】				
		【あ】はじめてシリーズ指導スキル、【○】Step指導スキル		
分類	スキル内容	Step0（まずはやってみよう）		Step1（授業で活用してみよう）
		対象	指導教材	活用場面
情報収集	持ち方	○		1年 2年 3年 4年 5年 6年 学習
	置き方	○		1年 2年 3年 4年 5年 6年 学習
	出し入れ（充電）	○	「はじめてのiPad（導入編）」	1年 2年 3年 4年 5年 6年 学習
	電源ON/OFF	○	「はじめてのiPad（導入編）」	1年 2年 3年 4年 5年 6年 学習
基本操作	ログイン（アカウントについて）	○	「はじめてのiPad（導入編）」	1年 2年 3年 4年 5年 6年 学習
	タップ	○	「はじめてのiPad（導入編）」	1年 2年 3年 4年 5年 6年 学習
	ドラッグ	○	「はじめてのiPad（導入編）」	1年 2年 3年 4年 5年 6年 学習
	スワイプ（画面切り替え）	○	「はじめてのiPad（導入編）」	1年 2年 3年 4年 5年 6年 学習
カメラ操作	ピンチイン・ピンチアウト（拡大・縮小）	○	「はじめてのiPad（導入編）」	1年 2年 3年 4年 5年 6年 学習
	右クリック	○	「はじめてのiPad（導入編）」	1年 2年 3年 4年 5年 6年 学習
	写真を見る	○	「はじめてのiPad（カメラ編）」	1年 2年 3年 4年 5年 6年 学習
	写真を消す	○	「はじめてのiPad（カメラ編）」	1年 2年 3年 4年 5年 6年 学習
その他	写真を撮る	○	「はじめてのiPad（カメラ編）」	1年 2年 3年 4年 5年 6年 学習
	動画を撮る	○	「はじめてのiPad（カメラ編）」	1年 2年 3年 4年 5年 6年 学習

事例共有によるICT活用推進

各項目ごとにリンクを作成



柏市情報共有掲示板内42・43「ICT活用実践事例」に各フォルダを作成することでアクセスしやすく、また、いつでも確認・投稿ができるようにしています。

プログラミング教育



柏市スタンダードカリキュラムから

プログラミング体験【GLICODE】
iPadのアプリをどうしようしよう

はじめてのプログラミング【Scratch】

節電プログラムを考えよう【MESH】
もっと効率的に電気を消費しようしよう

発達段階に応じたカリキュラムを用意

情報モラル・セキュリティ



R7年度柏市情報モラル育成プログラム（R7年4月版）

発達段階に応じた体系表・目標を学期ごとにまとめた表を用意